

MITSUBISHI

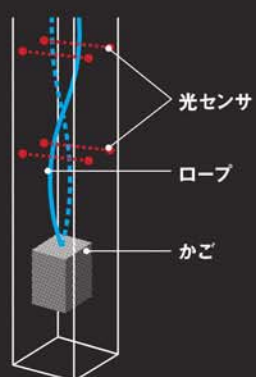
三菱電機

Changes for the Better

家庭から宇宙まで、エコチェンジ。



ロープの揺れを見きわめろ。



地震や強風による建物の揺れ。
それになうエレベーターのロープの揺れを、
業界初*の光センサで直接監視。
自らの判断で正確に見きわめ、
一刻も早い復旧を実現します。

あれっ、揺れてる、揺れてる…。エレベーターからのびるロープが、そう見えた方、じつはロープは揺れていません。これは、止まっているものが動いて見える錯視効果、いわば目の錯覚によるものです。じっさい、エレベーターのロープが揺れているかどうかの判断は、これまで建物の揺れをもとにした推測に頼っていました。そのため、地震や強風で建物が揺れた場合、最大のロープ揺れを想定して、止めなくてもいいエレベーターさえも止めてしまい、しかも、運転再開までには建物揺れがおさまったあとも十分な安全確保のために待機しつづける必要がありました。そこで三菱電機は、建物とエレベーターの仕様に応じて昇降路内に光センサを配置し、ロープの揺れを直接監視。揺れのおさまりを自動で判断し、すみやかに運転を再開します。より安心・安全に。縦へ縦へとこのびるライフラインを見守りつづけます。

*2013年2月発表。この技術は、今後実用化を図っていきます。

縦のライフラインを止めてはいけない。

エレベーターロープ 揺れ検出型管制運転技術

変える。三菱電機

◎この広告についてのお問い合わせは、adv.webmaster@rl.MitsubishiElectric.co.jp
または FAX.03-3218-2321 (宣伝担当)まで。

©Akiyoshi Kitaoka 2010 ©KANZEN
※錯視デザインを長時間見続けると気分が悪くなることがありますのでご注意ください。

